

# 12月定例会 議会だより

Communication Tool

委員会審査報告 ……2～7p  
 一般質問等 ……8～14p

敦賀市議会

検索

## 敦賀駅跨線橋

## 整備方法について調査

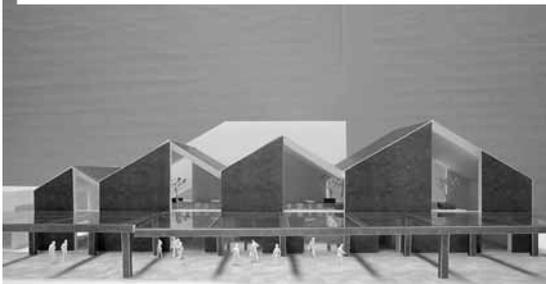
敦賀駅周辺整備調査特別委員会が12月定例会後、1月26日に開かれ、敦賀駅舎の改築に関し、バリアフリー事業と駅舎（交流施設）のデザインについて調査を行いました。バリアフリー事業については、理事者より、現在協議している跨線橋の整備方法とし

てエレベーター4基、エスカレーターは改札近くに上下2基、各ホーム（小浜線、北陸線上下線）には上り1基ずつの計5基を設置。跨線橋の幅は4mとし、新幹線が認可された場合には在来線との乗りかえに対応して9mとする2案について説明がありました。

駅舎（交流施設）の改築も含めた全体の概算費



千葉学東京大学大学院准教授による説明（1月26日の委員会）



現在デザインが検討されている駅舎（交流施設）  
 外観イメージ

2月5日、滋賀県高島市において、敦賀・長浜・高島三市議会協議会の設立総会が開催されました。この協議会は、古来より経済、文化、生活面でつながりのある福井県嶺南地域と滋賀県湖北・湖西地域の発展に欠くことのできない陸路交通の問題を初め、観光資源を活用した地域経済の発展などの諸課題について連携し、研鑽を深めることにより、三地域の振興・発展に寄与することを目的としています。各市議会から選出された

20名の議員で構成し、今後、自治体病院の経営と課題、原子力発電所の状況などについて、情報交換を実施していく予定です。



高島市で行われた三市議会協議会設立総会

### 敦賀・長浜・高島三市議会協議会を設立

用は、4m案が33億8000万円（市負担28億5500万円）、9m案が38億円（市負担は、鉄道・運輸機構により新幹線旅客通路分が整備されるため21億4500万円）。委員からは、費用負担のあり方や維持管理費の問題、完成までの整備計画などについて意見が出されました。また、駅舎（交流施設）のデザインについては、現在、

実施設計等において監修を受けている千葉学東京大学大学院准教授より、デザイン方針や空調計画、雪処理計画の検討状況について説明があり、委員からは、維持管理費の問題や駅周辺施設との連携などについて意見が出されました。委員会は、3月議会に向け、バリアフリー化とあわせて、さらに調査を進めることとしています。

常任委員会審査報告

各会計補正予算案を可決すべきものと決定

請願・陳情は、いずれも不採択とすべきものと決定

常任委員会は、本会議での議決（最終意思決定）の前に、予備的審査として議案などを議論する場です。

予算決算、総務民生、産経建設、文教厚生各常任委員会の主な審査の概要について紹介します。

予算決算常任委員会

全国瞬時警報システム（J-ALERT）整備費、産業団地進出企業への補助金、給与改定に伴う人件費の減額など計4億8239万6千円の各補正予算案を可決すべきものと決定。

〔議案〕平成21年度 一般会計補正予算

問 電算システム改造等委託料について、具体的な改造の内容は。

答 住宅ローン控除制度の法律改正に対応するための経費約650万円と公的年金の特別徴収に關し、インターネットを利用して手続を行うシステムを導入するための経費370万円を計上した。

問 全日本ノービスショートトラックスピードスケート選手権大会補助金30万円に關し、これまで敦賀市以外で開催された同大会に対する開催自治体の補助金の状況は。

答 他自治体の状況は把握していないが、これまでの敦

賀市における同様の大会への補助金としては平成18年度に25万円、19年度に50万円を支出している。なお、平成20年度に開催された全日本マスターズのプレ大会には補助は行っていない。

問 運動公園照明制御設備改修工事費について、設備の耐用年数は。改修は今回が初めてか。また、業者選定に当たっては入札するのか。

答 平成3年度に設置しており、過去にも何度か不具合が生じている。耐用年数も経過しており部品の供給もない。

補正予算が認められれば、工事の特殊性等も勘案し、業者選定などの手続に入ることになる。

問 緊急一時宿泊事業費について、詳細な事業内容は。

答 解雇や派遣労働の雇い止めにより住居を喪失した人を対象に一時宿泊の支援を行うもの。原則1週間以内、必要と認められる場合には最長1カ月程度まで民宿や旅館などにおいて宿泊と食事の提供を行う。

1泊2食5000円の支給で、3人の30日分として45万円を計上しており、全額が国庫補助金である。

問 県道整備負担金として、竹波立石縄間線（\*1）の道路整備費が計上されているが今後の見通しは。

答 道路の線形等基本的な事項を調査する費用が計上されているが、県からは着工時期等は未定であると聞いている。

採決 『賛成多数』 原案どおり

認めるべきものと決定。

\*1 竹波立石縄間線

敦賀半島を一周する周遊道路。昨年、県と市でそれぞれ整備する区間が決定。

県が施工する敦賀半島先端部の通行不能区間（浦底-白木）については、早期に整備するよう県に対し要望している。

〔議案〕  
平成21年度 敦賀市産業団地整備事業特別会計補正予算

### 問

企業立地補助金の補助対象である株式会社アイケープラスチック第2工場の補助額と新規雇用者数は。

### 答

投下固定資産額の20%が補助対象であることから、補助額は限度額である4億円を計上している。

また、新たに27人を雇用していることから、雇用補助金として1人あたり30万円の、810万円を計上している。

### 採決

『賛成多数』原案どおり

認めるべきものと決定。



アイケープラスチック敦賀工場 (右が第2工場)

〔議案〕  
平成21年度市立敦賀病院事業会計補正予算

### 問

超過勤務手当の増額理由及び特殊勤務手当の支給根拠は。

### 答

超過勤務手当の増額は、5月頃から流行し始めた新型インフルエンザへの対応に伴うもの。

特殊勤務手当は、職員の給与に関する条例に区分及び額が定められており、それに基づき支給している。

### 問

医療器械の修理に当っては入札をするのか。

### 答

1社見積もりである。医療器械は特殊な製品であることから、メーカーの代理店を通さないと部品が手に入らないこと、また、代理店と保守点検の契約を結んでいるため、その業者との1社見積により修理する。

### 採決

『賛成多数』原案どおり

認めるべきものと決定。

## 総務民生常任委員会

人事院勧告に伴い、期末勤勉手当(ボーナス)の支給月数の減、給料表の改正等を行う「職員の給与に関する条例等の一部改正の件」など3件をいずれも可決すべきものと決定。

### 〔議案〕

職員の給与に関する条例等の一部改正の件

### 問

今回の人事院勧告に伴う影響額は。

### 答

全会計で1億3452万1千円の減額となる。

### 問

敦賀市のラスパイレシ指数(※2)は県内でも低いほうだが、引き上げる方法は。

### 答

ラスパイレシ指数は職員の年代、学歴等によっても異なってくるものであり、直ちに上げることは難しい。

### 討論

敦賀市職員のラスパイレシ指数は約10年間変わっていない。これは民間の賃金にも影響を及ぼし、また労使交渉を

行っていないことから条例改正には反対。

さらに、住民サービスの低下や職員の労働意欲の低下、また購買力の低下が懸念されることから反対である。

### 討論

現在の社会経済状況や市内の中小零細企業の状況を見れば、今回の改正は妥当だと考えるため賛成である。

### 採決

『賛成多数』原案どおり

認めるべきものと決定。

### ※2 ラスパイレシ指数

国家公務員の俸給月額を100とした場合に、地方公務員の給与水準を示す指数。地方公共団体の給与制度・運用の在り方を検討する際の資料として活用されている。

県内では、平成20年4月1日現在で福井市が100.5、越前市が99.8、敦賀市が96.2、小浜市が95.0などとなっている。

# 産経建設常任委員会

「日米間におけるFTA締結に反対する意見書」提出を求める  
「請願及びトンネルじん肺根絶の抜本的な対策を求める意見書」  
提出を求める陳情をいずれも不採択とすべきものと決定。

〔請願〕  
政府への日米間におけるFTA  
(自由貿易協定) 締結に反対する  
意見書提出に関する請願

## 意見

民主党政権は米などの重要な農林水産物をFTAから除外する方針を明確にしていること、また、2年前に成立した米韓のFTAにより、韓国の電化製品、自動車の業績が伸びているということから、FTA全体の交渉を行わないということは問題である。

### 採決

〔賛成なし〕

不採択とすべきものと決定。

### 〔陳情〕

トンネルじん肺根絶の抜本的な対策を求める意見書の提出について

## 意見

平成19年6月に原告団と国が和解したことで、

など、合意書に基づき規則を改正し、対策を既に講じている。

また、和解が成立している以上、訴訟を起こさなくても患者が補償されるという基金を創設する必要はない。

### 採決

〔賛成なし〕

不採択とすべきものと決定。

# 文教厚生常任委員会

「現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書」提出を求める請願及び新保険業法の適用除外を求める陳情をいずれも不採択とすべきものと決定。

### 〔請願〕

現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める請願

## 討論

民間保育所運営費の一般財源化により、現在ある民間保育園を市の一般財源で運営することになれば市にとってもかなり厳しい。保育の質を落さずに保育園を増やすことが大切であり、意見書を提出することに賛成。



の中で意見書提出は時期尚早であり、意見書の提出には反対。

### 採決

〔賛成少数〕

不採択とすべきものと決定。

〔陳情〕  
新保険業法の適用除外を求める陳情

## 討論

自主共済には共通するいくつかの特徴があり、その特徴に照らせば、いわゆるニセ共済とは明瞭に区別することができるので、自主共済は新保険業法の適用除外とすべきと考え、賛成。

## 討論

PTAや障害者の共済のものであれば、一方では責任の所在が明らかでないものや、支払能力がないようないい加減な共済も実際にある。よって、この陳情書にあるように一律に自主共済を新保険業法の適用除外とすることには反対。

### 採決

〔賛成少数〕

不採択とすべきものと決定。

特別委員会中間報告

# 原子力発電所の安全対策、民間廃棄物最終処分場の費用負担金問題などを調査

特別委員会とは、特定の事件について、集中的に審議する必要がある場合に議会の議決によって設置される委員会です。

「原子力発電所特別委員会」「環境保全対策特別委員会」「敦賀駅周辺整備調査特別委員会」の調査の概要について紹介します。

## 原子力発電所特別委員会

敦賀発電所2号機 1次冷却材ポンプ監視装置の電源が切れてきた問題について、質疑が集中。

**問**

昨年の6月から電源が切れていたということで、原点に戻ってマニュアルがどうなっているのか。また、安全装置を二重にするなどの措置がなされるべきではないか。

**答**

冷却材ポンプの監視装置の電源スイッチが切れている

ることを知らせる警報自体も同じ電源からとっていたということ、保守運営上での大きなミスと認識している。今後、調査結果が報告され次第、必要な措置をとってきたいと考えている。

**問**

巡視点検を行っている作業員のマニュアルにポンプ

**答**

巡視していて、電源が入っていないかどうかを確認できないというのは本当に遺憾である。当然、マニュアル等も含めて取り組んでいくべきであり、市としても既にそのような要求をしている。

## 環境保全対策特別委員会

民間廃棄物最終処分場対策の費用負担金問題、中池見湿地のラムサール条約登録に向けた状況について議論。

**問**

抜本対策事業の費用負担について、県は排出12団体でつくる連絡協議会との協議に同席することに對しては、現在どのような考えか。

**答**

1回目の協議をするにあたり県に同席するよう要請した際には、「今は出ない。将来は

わからない」という返事だったが、最近の県の担当者の話では、12団体から事前に質問が提示されれば、今後は前向きに出席するとしている。

**問**

中池見のラムサール条約登録に向けて、市として今後どのように進めていくのか。

**答**

現在、県と共同で中池見湿地の国定公園への編入にむけて準備を進めている。NPO法人ウエットランド中池見がユネスコ未来遺産に登録されたことはラムサール条約登録にむけて大きな付加価値がついたと思う。

今後は、来年度、県が国定公園編入案を環境省に提出する予定であり、同時にラムサール条約湿地の国内候補地に選ばれるよう働きかけ、最終的に2012年度に国際会議で中池見が選ばれることを願うものである。

# 敦賀駅周辺整備調査特別委員会

バリアフリー整備の進捗状況、駅舎（交流施設）のデザインなどの敦賀駅舎改築と広域連携大学拠点施設整備などの駅西地区再整備について調査。

## ◎敦賀駅舎の改築

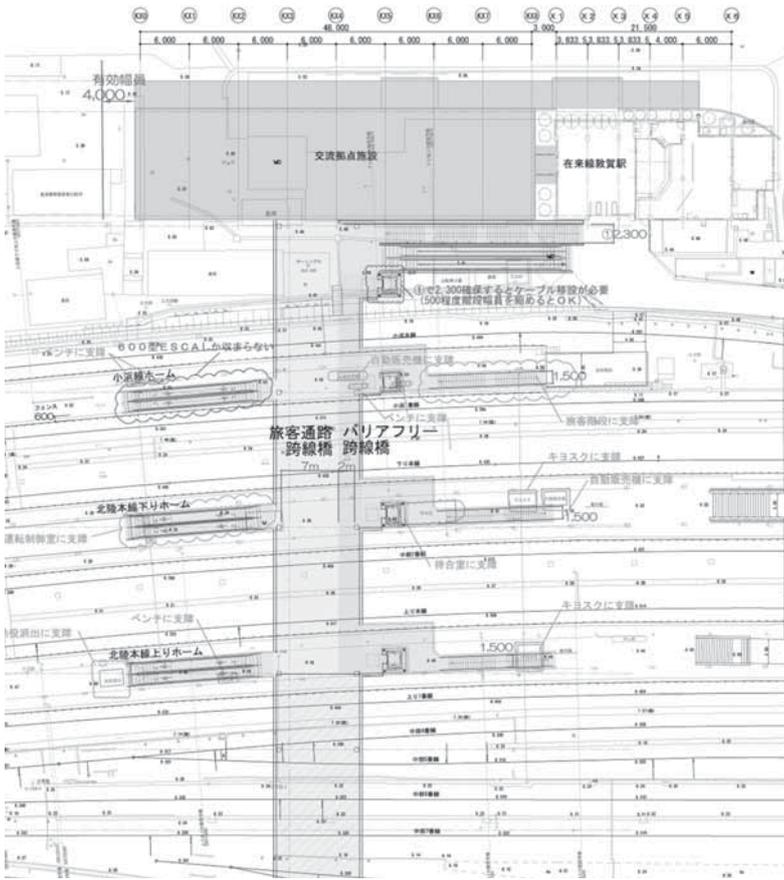
### 【バリアフリー整備の進捗状況】

市は現在、北陸新幹線の認可が遅れた場合についても、平成22年度にはバリアフリー化事業が完成

できるように、各ホームにおける工事の技術面の検討等の整備条件に基づき、関係機関と協議を進めている。

### 【整備の方向性】

各ホームすべてに上下のエスカ



図① フル整備案(エスカレーター上下8基・エレベーター・階段)の平面図

レーターを設置するとしたフル整備案（図①）の問題点及び予算を考慮し、各ホームのエスカレーターは上りのみとし、階段と併設する案について、関係機関と協議を行っている。

### 【新幹線が認可された場合】

跨線橋の幅員：9m

新幹線と在来線との乗りかえには、短時間で最大約700名の移動があるため、9m程度の幅員が必要。（JR西日本と鉄道・運輸機構が今後検討し、最終決定。）

### 【新幹線が認可されない場合】

跨線橋の幅員：4m

エレベーターは、新幹線が認可された場合に整備される旅客通路の幅員に対応できる位置に設置。

### 【整備の役割分担】

役割分担については、費用負担も含め協議中である。

JR西日本

バリアフリー化事業による整備

（跨線橋の幅員2メートル分、エレベーター4基、非常階段2基）

鉄道・運輸機構

新幹線が認可された場合、在来線駅舎から新幹線駅舎を結ぶ新

線

幹線旅客通路の整備  
（跨線橋の幅員7メートル分）  
敦賀市

エスカレーター、階段設置に関する整備

市は、平成22年度当初予算において、仮駅舎の建築と既設駅舎の取り壊し費用、補償物件移転費用、バリアフリー事業と跨線橋の詳細設計の負担金を計上する予定。

### 【駅舎（交流施設）デザイン】

市は、千葉学東京大学大学院准教授によるデザイン設計により、新しさと同時に敦賀らしさを尊重したデザインにすることで、まちの中心として市民が愛着を持てる駅舎を目指し、検討を行っている。また、審議会の意見、空調等の維持管理費の問題を踏まえ、今後、専門部会において具体的なデザインを検討する予定。

### 【設計コンセプト】

- ・ まちの玄関としてのデザイン
- ・ 周辺環境との調和
- ・ 歴史を尊重する駅舎
- ・ 利用しやすい機能配置
- ・ 将来の発展を視野に入れた2階
- ・ 新たなまちのイメージを体現する素材

◎ 駅西地区の再整備

【広域連携大学拠点施設整備】

市は、千葉学東京大学大学院准教授によるデザイン設計により、当初の5階建て・一部平屋建ての研究所の構造を変更し、検討を行っている。

【施設概要】

規模：3階建て  
述べ床面積約6800㎡

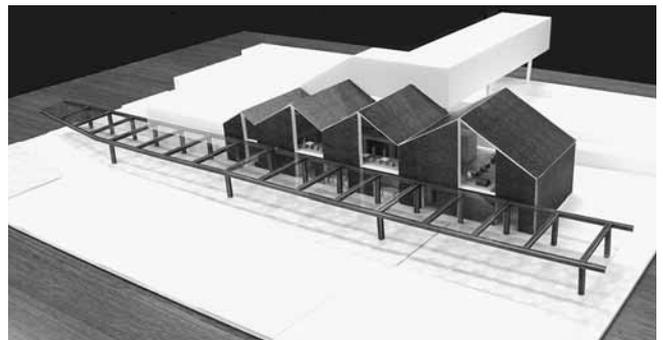
内容：研究室、実験室、講義室、事務室等

【設計コンセプト】

- ・ 将来の発展を視野に入れたゾーニング
- ・ 住宅街に配慮した計画
- ・ 活動を創出する中庭
- ・ シンプルな平面計画

【敦賀駅周辺デザインガイドライン】

市は、駅舎や駅前広場、土地活用エリアなど駅周辺の整備を進めるに当たり、統一感のある良好な景観となるよう、まちのデザインに関する基本的な方針やルールなどを定め、「敦賀駅周辺デザインガ



駅舎（交流施設）のイメージ模型

イドライン」として取りまとめる予定。

ガイドラインの策定は、駅周辺整備構想を踏まえ、千葉学東京大学大学院准教授の監督を受けながら、専門家による専門部会において実施する。

駅西地区全体の土地利用計画については、社会情勢、民間活力の参入方法、建設工事等の関係による段階的な整備、動線計画、将来計画、他市の事例等を踏まえ、今後協議していく予定。

各施設の位置図



◎ 委員から出された主な意見

駅のバリアフリー整備・交流施設の改築に関しては、精度の高い費用等の提示を待つて議論を深めることが必要。

また、駅周辺整備全体に関しては、具体的な全体計画及び財源計画が必要であるとの意見が多数を占めた。

そのほか、高齢社会を迎える現在においては、弱者の視点に立ち、市の負担をふやしても上下のエスカレーターを整備すべき。

駅舎は、広い空間にデザインされているが、維持管理費は市が負担するため、できる限り低く抑えることができるように、機能面と管理面のバランスを検討すべき。

駅機能の保障、駅から研究所への動線や研究所の公共ゾーンを利用する市民の動線を検討するためにも、駅西地区における駐車場の整備規模と位置を示す時期にきていると考える。

デザインガイドラインは、今後の周囲の施設建築に大きな影響を与えるため、これまでの市内における建築例を踏まえ、十分検討すべきなどの意見があった。

一般質問

教育問題、まちづくり、公営住宅対策など

21議員が一般質問を行う

12月7日、8日、9日の3日間、21議員が一般質問を行いました。質問項目は下記一覧表のとおりです。そのうち、分野ごとに1人1項目（太字部分）について要約して掲載しています。

行政

電源三法交付金について

和泉 明

問

高経年化炉に対し県に交付される原子力発電施設立地地域共生交付金（\*3）の活用全体概要が県から公表された。敦賀発電所対象の25億円のうち、当市に対する配分総額は。また、どのような事業に活用するのか。

答

配分額は立地市町一律であり、当市への配分予定総額は10億円と聞いている。

交付金を活用するには、県が地域振興計画を作成する必要がある。現在、県とその策定に向けて協議を行っているが、当市としては、福祉、観光、文化振興等に活用したいと考えている。

\*3 原子力発電施設立地地域共生交付金

運転年数が30年を超える原子力発電所が所在している都道府県に25億円を交付するもの。

県は、高浜町で実施予定のプルサーマルに係る核燃料サイクル交付金とともに昨年12月に活用の全体概要を示した。

◎上原修一議員

- 1 原発問題について
  - (1) 日本原電1号機の運転停止時期の延長
  - (2) 原発の地震対策
  - (3) 定期検査間隔の延長
  - (4) もんじゅの運転再開**
- 2 道路行政について
- 3 失業者対策について

◎木下章議員

- 1 **公営住宅における高齢者等対策について**
- 2 角鹿中学校の統廃合問題について

◎増田敬議員

- 1 **新市内バス運行事業について**
- 2 敦賀短期大学の高等教育機関としての再生について
- 3 角鹿中学校問題について

◎平川幹夫議員

- 1 市民が安心して暮らせる温かいまちづくりについて
  - (1) ペット類の飼育管理
  - (2) 放置された空き家対策
  - (3) 多重債務で不安を抱える住民への支援**

◎淵上隆信議員

- 1 旧木崎通りの通学路整備について
- 2 コンビニ収納と電子収納について
- 3 **コンピュータ設備費及びシステム開発費について**

◎奥本兼義議員

- 1 **道路整備について**
  - (1) 国道8号東浦バイパス整備

- (2) 県道五幡新保線、県道今庄杉津線の整備
- 2 松原海岸侵食防止対策について
- 3 小中学校の防犯対策について

◎河端満議員

- 1 観光振興について
- 2 **公衆トイレの整備と管理について**

◎宮崎則夫議員

- 1 教育問題について
  - (1) 教育長の就任の抱負
  - (2) 角鹿中学校の統合問題
  - (3) 葉原小学校の校舎の活用
  - (4) 児童生徒の問題行動
- 2 **交通安全対策について**
  - (1) 運転免許証の自主返納
  - (2) 交通安全教室の今後の予定

◎原幸雄議員

- 1 **市営住宅の適正管理及び現状に対応した施策について**
  - (1) 市営住宅の現状
  - (2) ペット飼育に関して
  - (3) 高齢者等への対応

◎和泉明議員

- 1 施設の維持管理について
- 2 **電源三法交付金について**

◎堂前一幸議員

- 1 **災害、事件等に即応できる施策について**
- 2 木崎山の保全について

### コンピュータ設備費及びシステム開発費について

測上隆信

## 問

コンピュータ設備のハード、ソフト両面の過去5年間の費用は。

また、国の手数料改定等に伴うシステムの改修費や配付を国に求められないか。さらに、県内市町全体でシステムの共同発注を行うことでコスト削減はできないか。

## 答

企業会計と教育委員会を除き、ハード面は毎年2億円ほどかかっており、システム開発や改修も平均すると1億円ほどかかっている。国等の制度改正によるシステム改修は、補助のあるもの、ないものがあるため、今後市長会等を通じて要望をしていきたい。

また、国から配付されている共通システムは住民基本台帳ネットワークのみ。

周辺自治体との共同開発等については、今年度から総務省がシステムの共通化等の環境整備を推進するため、実証実験を行っている。実際に運用されれば参加していきたいと考えている。

### 市民生活

### 新市内バス運行事業について

増田敬

## 問

新市内バスのスタートにより、市内主要施設を市民の身近な施設にする提案ができたか。

また、交通弱者のために敦賀病院、市役所の停留所を各玄関に設置することはできないか。

## 答

料金を一律200円とし、通勤通学路線の新設や公的医療機関等乗り継ぎ拠点とした。

また、目的地までの時間短縮も勘案するなど、市民の利便性を図った。

各施設の玄関前への停留所設置については、改修の内容、費用等も含めて一度検討する。



コミュニティバス

### 質問項目一覧

#### ◎今大地 晴美 議員

- 1 事業仕分けについて
- 2 議員年金について
- 3 駅周辺整備について

#### ◎籠 一郎 議員

- 1 終の栖(ついのすみか)のまちづくりについて
  - (1) 舟溜り地区の博物館通り
  - (2) 舟溜り地区のお魚通り

#### ◎山本 貴美子 議員

- 1 子どもの権利条約について
- 2 新型、季節性インフルエンザの予防接種の助成について
- 3 乳幼児等の医療費助成制度の窓口での実施について

#### ◎三国 房雄 議員

- 1 市立敦賀病院について
  - (1) 敦賀病院の現状
  - (2) 敦賀病院の今後
  - (3) 勤務体制

#### ◎林 正男 議員

- 1 敦賀駅舎の改築と駅西地区の再整備について
- 2 公民館について

#### ◎有馬 茂人 議員

- 1 敦賀短期大学について

#### ◎北條 正 議員

- 1 敦賀市の活性化とまちづくりについて
  - (1) J R直流化3年の総合評価と今後
  - (2) 舞鶴若狭自動車道と活性化方策

- (3) 駅周辺整備の全体像と財源確保
- (4) 活性化とまちづくりの課題

#### 2 敦賀短期大学と市立看護専門学校の合併について

- (1) 敦賀短期大学の方向性
- (2) 看護専門学校の短大化
- (3) 合併にあたっての検討と目標提示

#### ◎山崎 法子 議員

- 1 市民の命を守る安全・安心対策について
  - (1) 医療連携についての現状と課題
  - (2) 緊急事態に備えた救急医療情報キットの取り組み
  - (3) 新型インフルエンザ対策

#### ◎前川 和治 議員

- 1 小中学校での週5日の完全米飯給食について
- 2 敦賀短期大学から木崎交差点までの道について

#### ◎馬淵 清和 議員

- 1 学園線の進捗状況と今後の取り組みについて
  - (1) 重要区間、道路幅員及び利用者状況
  - (2) 残事業内容、事業期間及び事業費
- 2 敦賀短期大学と市立看護専門学校の今後について
  - (1) 敦賀短期大学の廃止と原子力に特化した大学の新設
  - (2) 看護専門学校の存続と助産師学科の新設
- 3 筈の川水系河川整備計画と現状について
  - (1) 整備計画の進捗状況と県に対しての市の具体的な要望
  - (2) 木の芽川、助高川及び深川の現状、問題点及び改善案
- 4 樫曲地区民間廃棄物最終処分場の抜本対策工事について
  - (1) 工事進捗状況と問題点
  - (2) 浄化促進工事の疑問点
  - (3) 費用負担に難色を示す団体との協議内容

### 多重債務で不安を抱える住民への支援について

平川 幹夫

## 問

多重債務者への対応は自治体の責務と考える。庁内各部署で掘り起こしを行い、ネットワーク化し包括的に理解し相談にあたることが望ましいと思うが、当市の取り組みについて伺う。

## 答

県が作成する多重債務者に関するマニュアルを参考とし、適切な相談窓口へ債務者を誘導することが必要であると考え。税や使用料を徴収する課、相談業務を行っている課などが集まって研修会を実施するとともにネットワーク化を行い、早期に多重債務の解決を図っていく。

### 公衆トイレの整備と管理について

河端 満

## 問

公衆トイレは社会一般の人々が利用する施設である。市の設置したトイレの管理状況は場所により差異があるが、行政財産であれば単独の部署で管理するほうが好ましく、管理内容も統一すべきではないか。

## 答

公衆トイレは観光のため、農村公園のためなど、それぞれの目的に従って建設されている。管理については事務取扱要項や要望時に取り決めたものなど、当初設置した経緯によって様々な形態がある。

今後も従来どおり目的に沿って管理をしていきたいと考えているが、方向性については個々の案件を見て判断させていただきたい。

### 災害、事件等に即応できる施策について

堂前 一幸

## 問

本市周辺には敦賀断層を初め多くの活断層が存在するため、誰もが使える屋外型救助用工具箱の設置はできないか。

また、猟奇的事件が多く発生している中、犯罪抑止と犯人検挙につながる防犯カメラを設置できないか。

## 答

防犯カメラは、犯罪抑止の有効性とプライバシーの保護に加え管理、運用上に課題があると認識しており、まず市民の理解を得なければ進めることはできないと考えている。

ガードレールパイプに収納でき

る屋外型救助用工具箱については、積雪時に取り出せないなどの問題もあると考えるが、地区からの要望があれば、防災資機材として助成ができるか検討したい。



防災ガードレール (兵庫県川西市)

### 交通安全対策について

宮崎 則夫

## 問

福井県内の65歳以上の高齢者の交通事故死者数は全国平均を上回っている。以前提案した高齢者の運転免許証自主返納者に対するコミュニティバス運賃無料化の検討結果は。

また、高齢者と幼児対象の交通安全教室の予定は。

## 答

自主返納者に対するコミュニティバスの利用支援については、平成22年4月から実施できるよう事務を進めている。

また、敦賀自動車会館を利用した高齢者と幼児向けの交通安全教室についても平成22年の春以降に実施する計画である。

# 建設

### 終の栖(ついのすみか)のまちづくりについて

籠 一郎

## 問

舟溜り地区の博物館通り、お魚通りを活用した中心市街地の課題である集客力の強化や魅力ある拠点としてのにぎわいづくりの取り組み状況、中心市街地全体に波及させる技と仕掛けなど、今後の課題について伺う。

## 答

舟溜り地区と気比神宮や金ヶ崎緑地等をあわせた面的な回遊ルートを創出し、商店街を回遊する来街者を増加させることで、中心市街地全体のにぎわい再生へ波及することを期待している。

また、拠点間を移動する際の交通利便性の向上、商店街で行っている百縁商店街等の各種イベント、空き店舗の開業支援等を重点的に展開。相乗効果の発現を目指す。



博物館通り

駅周辺整備について

今大地晴美

問

JRのバリアフリー化事業で市が提示する案の場合、市の負担する金額の割合、支払い方法はどのようになるのか。

また、設計、工事等はすべてJRに委託することになるが、施主としての市はどこまで関与できるのか。

答

最低限のバリアフリー化以上のは、市がすべて負担することを前提に進めていかなければならないと考えている。

JRへの委託分については、適切に執行されているか精査し、しっかりと責任のもとに事業が執行されるように監視していきたい。

市営住宅の適正管理及び現状に対応した施策について

原 幸雄

問

市営住宅は、収入が著しく低額であったり、高齢者、障害者など社会的に弱者の方々が優先に入居できなければならぬが、その入居資格基準は。

また、すみ分けによるペット飼育への取り組みは。

答

市営住宅の入居資格は公営住宅法や敦賀市市営住宅管理条例によって定められており、この基準により一般公募を行っている。具体的には、同居親族があること、収入基準を超えないこと、住宅に困窮していること、市税を完納していること、本人及び同居者が暴力団員でないことこの5つの条件を満たす必要がある。

直ちにすみ分けをしてペット飼育を行うことは困難。現況を調査し、可能であれば研究はしたい。

公営住宅における高齢者対策について

木下 章

問

市営住宅に入居する要介護者の方々から1階への転居希望が多く出されているが、一定の条件を定めての対応が必要ではないか。

また、片廊下方式の高層住宅においてはエレベーターの設置を検討すべきと考えるが、どうか。

答

各団地とも1、2階の空き住居はほとんどない。高齢や病気により日常生活に困難を来す方々には、関係部署と連携しな

がら、丁寧の説明を行い、空きが出た場合、話し合いで合意に至った場合についても対応していきたい。

また、片廊下方式の高層住宅については、今後、エレベーターの設置を検討していきたい。

舞鶴若狭自動車道と活性化方策について

北條 正

問

舞鶴若狭自動車道の開通は5年後である。土日の高速道路1000円効果の実績、今後予想される高速道路無料化などを考慮し、中心市街地活性化基本計画、観光戦略、また敦賀市の活性化をどのように考えているのか。

答

北陸自動車道木之本―敦賀間の交通量を平成20年と21年で比較すると、3月から8月の平均で約3割増となっている。舞鶴若狭自動車道が開通した場合には、四国からも1泊2日の観光圏になるのではと期待をしている。

駐車場整備についても念頭に入れ、舟溜り地区における集客施設の整備などに取り組み、多くの皆さん方に来ていただけるまちづくりを推進する必要があると考える。

学園線の進捗状況と今後の取り組みについて

馬淵 清和

問

学園線の完成は大幅に遅れているが、何が隘路となっているのか。

また、残事業の内容、今後の財源の目処は。さらに、市民から計画道路の幅員構成に疑問の声があるが、どうか。

答

用地、物件補償の交渉に相当の時間を要したため、事業期間が平成24年度までに変更となった。

残事業としては、工事費のほか、四石橋橋梁部の構造計算と調査、5件の用地買収、物件補償4件等で約7億4000万となっている。現在、地域活力創造交付金事業で整備を行っているが、今後、国の状況を見きわめながら判断していきたい。また、幅員構成の問題として挙げられているファミリーマート交差点については、公安委員会と十分協議して進めていく。



ファミリーマート前の交差点(木崎地区)

道路整備について

奥本 兼義

**問** 市長は東浦バイパスを、どのように位置づけ、今後どのような促進活動を行うのか。

また、県道五幡新保線の整備状況と今後の工事予定、県道今庄杉津線の待避所設置状況と県に対する要望状況は。

**答** 東浦の8号バイパス整備は非常に重要であると認識している。毎年県に対し要望しており、今後ともしっかりと展開していく。

五幡新保線の交通不能区間は平成18年に概略設計が実施されている。今後、工事に向け県へ要望していく。

また、今庄杉津線全線を大型車対応のため整備するには膨大な事業費を要する。カーブミラー、事前警告の安全対策を県に確認させ、予算確保に向けて要望していく。

福祉

子どもの権利条約について

山本 貴美子

**問** 子どもの権利条約は子どもの最善の利益の確保を中

心に規定しており、全国で条例化が進められている。当市でも市民や子供たち、市の職員などがみんなで学び話し合い、子どもの権利条例を制定すべきではないか。

**答** 当市の「つるがいきいき子ども未来プラン」(\*4)は子どもの権利条約の趣旨を反映している。

このプランのもと、大人が一丸となって子供にとつての最善の利益を考え、みんなで支え合う社会をつくるのが第一と考えている。

\*4 つるがいきいき子ども未来プラン

平成15年の次世代育成支援対策推進法制定により、従来あった敦賀市エンゼルプラン(児童育成計画)をふまえ、子供に対する各種施策分野の連携と市民協働による「みんなで支えあうまちづくり」の推進に向けた計画。

新型インフルエンザ対策について

山崎 法子

**問** 重症化が心配される高齢者、小児などの優先接種者

に対し、市として半額だけでも公費助成をすべきではないか。

また、障害を持つ方への予防と対策などの情報提供は障害の状況に応じて、より配慮すべきではないか。

**答** 半額助成(\*5)については、他市の状況も見ながら一度検討させていただきたい。情報提供については、ひとり暮らしの高齢者の方には、民生委員による週1回の訪問の中で通知する、障害者の方には、ケアマネジャー等を通じて、また、障害者の各団体などへ情報を流すことで、会員の方にも通知していきたい。

\*5 新型インフルエンザ予防接種費の半額助成

検討の結果、優先接種者である市内の1歳から小学6年生と13歳未満の中学生、基礎疾患を持つ方のうち免役が低下していると医師が判断した方の2回目の接種費用2,550円を全額助成することになった。

低所得世帯の方の助成は従来どおり。

病院

市立敦賀病院について

三國 房雄

**問** 二州医療圏の中核病院である敦賀病院は、度重なる

診療報酬等の改正や研修医制度の改正に伴い、赤字に転落し今日に至っていると考える。原因をどのように分析しているのか。

**答** 市立敦賀病院あり方検討委員会の答申では、14年度改定以降、マイナス改定になっている診療報酬の改定に加え、医師不足による患者の減少により収益が大きく減少したことが第一の要因としてあげられている。

この答申をもとに昨年策定した中期経営計画では、医師を初めとした人材の確保、また育成を第一の課題ととらえ、各種取り組みを行っている。

教育

小中学校での週5日の完全米飯給食について

前川 和治

**問** 米飯給食を週5日にすると、各学校で好きなように献立を組むことができ、子供たちのニーズに合わせることができる。

また、地産地消の推進にも貢献すると考える。週5日の米飯給食を実施できないか。

# 答

学校給食検討委員会で米飯の推進、アレルギー対応食などのいろんな課題について検討を行っているが、設備面、スペース面などから給食センターの米飯は週2・5回にとどまっている。そのため、センターの改修時期に合わせ、全体的な見直しについて研究していきたい。

## 公民館について

林 正男

# 問

市長と松原地区区長との語る会において、松原公民館の建設場所は、あくまでも松原地区住民の選定候補予定地を尊重すると市長は述べられた。平和町の区長をしている関係で私自身もそのように聞いているが、間違いはないか。

# 答

老朽化した公民館であるため、建設事業に着手していきたいと考えている。地域の方として、つかり意見交換をさせていただき、地区の皆さんの使い勝手のよい公民館をつくっていききたい。場所については、できれば用地買収費用がかからない市の保有地を選定していただきたいと考えている。

## 敦賀短期大学について

有馬茂人

# 問

自立経営への改革が進まない敦賀短大は廃校とし、跡地に市立看護専門学校を移転すべき。平成21年3月議会の附帯決議の趣旨を反古<sup>ほんこ</sup>にしてはならない。

# 答

議会の附帯決議もあり、なお一層の改革を進めようということ、11月に短大内に学科内容検討協議会を設置し、地域ニーズ、また学校法人経営の効率化を踏まえて改廃などを検討している。

# 原子力

## もんじゅの運転再開について

上原修一

# 問

ナトリウム火災を起こして長期間停止しているもんじゅは、改造工事を行い安全を確認したとしているが、いまだに事故、故障を繰り返している。

また、直下に活断層があることから不安を抱く市民もいる。動かすべきではないと考えるが、どうか。

# 答

エネルギーのない日本として、もんじゅは、いかにエネルギーセキュリティを担って

いくか、また環境問題の観点からも非常に世界各国から期待されている。

現在、国による厳正な確認がなされており、市民の安心、安全の中で次のステップに進んで、この敦賀から世界最高水準の技術が世界に発信されることを願っている。

## 議会日誌【平成21年12月定例会】

- |  |  |
|--|--|
| <p><b>11月30日 本会議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会</li> <li>・会議録署名議員の指名</li> <li>・会期の決定</li> <li>・諸般の報告</li> <li>・議員提出議案（説明・質疑・採決）</li> <li>・市長提案理由概要説明</li> <li>・報告議案（説明・質疑）</li> <li>・予算、条例、一般議案（説明・質疑・委員会付託）</li> <li>・請願・陳情（委員会付託）</li> <li>・特別委員会中間報告（敦賀駅周辺整備調査特別委員会）</li> <li>・総務民生常任委員会</li> <li>・第79、80号議案（委員長報告・質疑・討論・採決）</li> </ul> <p><b>委員会 本会議</b></p> | <p><b>12月1日 委員会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算決算常任委員会</li> </ul> <p><b>7日～9日 本会議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般質問</li> </ul> <p><b>10日 委員会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総務民生、産経建設、文教厚生各常任委員会</li> </ul> <p><b>11日 委員会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力発電所、環境保全対策各特別委員会</li> </ul> <p><b>14日 委員会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算決算常任委員会</li> </ul> <p><b>17日 本会議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長提出人事議案（説明・採決）</li> <li>・予算、決算、条例、一般議案（委員長報告・質疑・討論・採決）</li> <li>・請願・陳情（委員長報告・質疑・討論・採決）</li> <li>・特別委員会中間報告（原子力発電所、環境保全対策各特別委員会）</li> <li>・議員提出議案（説明・質疑・採決）</li> <li>・閉会</li> </ul> |
|--|--|

### 請願・陳情はどなたでもできます

#### 請願・陳情とは……

市政について、市民の皆さんが**直接市議会に意見や要望できる制度**です。紹介議員を必要とするものを**請願**、紹介のないものを**陳情**といいます。

提出期限は、各定例会開会日の1週間前(告示日)の前日、午後5時になります。

※陳情は、議会運営委員会において協議し、下記の該当要件(\*)により請願に適合していると判断された場合、請願と同じ取り扱いとなり、審査することになります。(それ以外は写しを全議員に配布)

#### \*該当要件

- ・陳情者が本市に住所を有するもの。
- ・敦賀市又は本議会の権限に属するもの。
- ・公益的性格を有するもの。
- ・その他議会運営委員会が必要と認めたもの。

#### 書式例

年 月 日

請願(陳情)書

敦賀市議会議長 殿

紹介議員 (請願のみ)

住 所 ○○○○

氏 名 ◇◇◇◇ 印

△△△△△△について

請願(陳情)趣旨

請願(陳情)事項

- 1 .....
- 2 .....
- 3 .....

### 議会あれこれ

#### (第十回)

今号では、現在敦賀市議会に3委員会が設置されている**特別委員会**について紹介します。

特別委員会は、常設の委員会ではなく、特定の事件を審査するために、必要に応じて本会議で議決されて設置される委員会です。

主に、2つ以上の常任委員会に所管がわたる事件、1つの常任委員会の負担を超える特に重要な事件を審査する際に設置されます。  
敦賀駅周辺整備調査特別委

員会は、昨年の6月議会において、港まち敦賀の玄関口としての駅及び駅周辺整備が今後の敦賀市の方向性を決定する重要な施策であり、集中的に調査、議論する必要があると判断し設置されました。

原子力発電所、環境保全対策の各特別委員会についても、当市特有の重要課題であるとの判断から設置され定例会ごとに調査を行っています。

今後委員会報告の中で調査内容について取り上げていきますので、特別委員会でのような議論が展開されているのをご覧ください。

### 3月定例会テレビ放送のお知らせ

2月24日(水)

議案の説明・質疑

再放送：午後7時からの予定

3月8日(月)

代表・一般質問

再放送：会期中に予定

3月9日(火)

3月18日(木)

委員長報告・討論及び採決

再放送：午後7時からの予定

\*中継は午前10時からを予定しています。

### 編集後記

表紙でも紹介しているとおり、お隣の滋賀県長浜市、高島市と当市の各市議会議員で組織する協議会が設立されました。

長浜市は1月1日に6町を編入する合併を行い、敦賀市と隣接市になったばかりでもあり、県境を挟んでの三市がお互いに情報を交換し、道路、自治体病院、原子力防災など、多岐にわたって連携し、行政運営に活かしていくことができればと考えています。

議会だよりでは、分かりやすい紙面を目指し、議会の審議状況を要約して掲載しております。ご意見等がありましたら、左記までご連絡ください。

#### 議会だより編集委員会

- 委員長 山崎 法子
- 副委員長 馬淵 清和
- 委員 三國 房雄
- 委員 増田 敬
- 委員 前川 和治
- 委員 今大地 晴美
- 委員 山本 貴美子
- 委員 和泉 明

発行：敦賀市議会  
住所：敦賀市中央町

2丁目1番1号

電話：22-8157

電子メール：gikan@on21.ne.jp